

1杯のコーヒーから広がる いっぱいの コミュニケーション

The Lobby UMINECO

代表 鈴木 史朗
鈴木 ゆきこ

▶ 創業前はどこでどんな仕事をしていたのですか?

夫婦ともに福島の出身ですが、妻に出会ったのは、栃木県那須町です。自然が好きだったので東京から移り住んでそこでカフェ、ニシマスや岩魚の釣り堀、イベントスペースを経営していました。山間でとても静か、家には薪ストーブ。川魚の燻製を作ったり水田や畑も、やって暮らしていました。

▶ 青森にきた経緯と理由は?

子供を授かったのがきっかけです。那須は土いじりや山遊びが好きな我々にとってはとても暮らしやすかったのですが、震災後ちょっと状況が変わりました。山菜や薪ストーブの灰から基準を超えた放射線が出たりしていて今までと同じような暮らしは望めなくなりました。その時にちょ

うど妻の妊娠がわかつたので悩みました。子供を迎える、家族で楽しく暮らす方法をあれこれ思案しました。その時かつて旅で訪れた青森のことが頭に浮かんだのです。青森が好きで何度も訪ねていました。町のあり方、文化も好きだったし、

山も海も隣接している。子供と一緒に生活するなら最高な場所じゃないかと…。思い立つたらもう楽しくなってきちゃって妻を説得しました。冬寒いんじゃない?なんて言っていましたけど。那須より暖かいくらいですよ。

▶ 創業のきっかけ、現在の活動は?

私がとても楽観的な性格ですので、青森でもカフェをやろうと考えていました。周囲に頼れる人がいない中、21あおもり産業総合支援センターに出向き、創業・起業支援の専門家(インキュベーション・マネージャー)に相談。翌年にはお店をオープンすることができました。お店の名前は、海沿いの野鳥からとて「UMINECO」に。COはコーヒーのCOです。また、地域のみなさんが気兼ねなく話せる寄り合いの場所になればと「Lobby」という位置づけで「The Lobby UMINECO」はスタートしました。お客様から「うみねこは八戸の鳥だから、青森市の鳥で白鳥が善知鳥にしたら」なんて言われたこともありますが、逆に話題のひとつとして盛り上がりります。そんな一杯のコーヒーを通してのお客さまとのコミュニケーションをいつも大事にしたいと思っています。今では、幅広い層の方がいらして下さり、いろんな仲間ができました。中には子供が熱を出したときなんかに、お手伝いしてくれる方まで現れるようになったのですから。ありがとうございます。お店では、コーヒー以外にも、季節のジュース、焼き菓子の他、輸入雑貨の販売もして

います。輸入雑貨は出会ったお客様からの委託販売です。かわいいグッズを選んでくれて店内を賑やかに彩ってくれています。みなさまも是非一度当店へふらっと寄っていただけたらうれしいです。

▶ これからの活動の夢や目標は何ですか?

やはり珈琲豆の焙煎が好きなので、今はもう少しサイズの大きい焙煎機がほしいです。今はスタンドカフェというスタイルですが、さらにお客さまがゆったりできるスペースづくりができるんですね。妻はお店と家族のことをうまく両立できるよう頑張っていますよ。フェイスブックでの情報発信、オリジナルグッズなんかも増やしていくたいと話しています。

▶ 青森の好きなところ、魅力を教えて下さい!

青森市はすぐそばに海があり、山がある。四季のおいしい食材もあればねぶた祭も楽しい。近くの商店街の人たちもやさしいです。妻は冬が終わった後の、春の気候がとても快適で過ごしやすいといいます。初夏から晩秋までの過ごしやすさは他にないと思っています。我々は年々青森が好きになっていっていますよ。



DATA

創業年月 平成27年5月
所在地 青森市古川1-13-15
花ごよみビル1F
電話 050-3698-1355
Twitter・Facebook 「The Lobby Umineco」



▶ 青森への「UJターン創業」を考えている方へメッセージをお願いします!

私の場合はコーヒーを通して人と会えることが起業しての喜びになっています。やはり好きなことを目一杯やってみて、実感したこと、その時の充実した体験を大切にすることがいいと思います。それが結局困難を乗り越えさせてくれるのではないかと思っています。



自慢のスコーンやコーヒー豆